

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 25 年 3 月 28 日 (2013.3.28)

【公表番号】特表 2012-519589 (P2012-519589A)
 【公表日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-034
 【出願番号】特願 2011-553399 (P2011-553399)
 【国際特許分類】

B 0 2 C 15/04 (2006.01)

H 0 2 K 7/14 (2006.01)

【F I】

B 0 2 C 15/04

H 0 2 K 7/14 C

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 4 日 (2013.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの研磨ローラ (1) と、
 下向きに開口した研磨台内部空間を有する研磨台 (2) と、
 前記研磨ローラ (1) を駆動するための少なくとも 1 つの研磨ローラ駆動システム (3) と、
 前記研磨台を駆動するための研磨台駆動システムと、を備えるローラミルであって、
 前記研磨台駆動システムが、研磨台内部空間 (2 b) に配設されたギヤレス直接駆動装置 (4) を備え、
前記ギヤレス直接駆動装置 (4) が、ローラミルの全設置駆動力の 15 % ~ 30 % を有することを特徴とするローラミル。

【請求項 2】

前記研磨台 (2) が、研磨台支持部 (8) を備え、
 前記ギヤレス直接駆動装置 (4) が、前記研磨台支持部 (8) を介して支持される回転子 (4 a) を備えることを特徴とする請求項 1 に記載のローラミル。

【請求項 3】

前記研磨台支持部 (8) が、ローラミルのベースプレート (9) 上に配置され、
 前記ギヤレス直接駆動装置 (4) は、ベースプレート (9) 上に支持される固定子 (4 b) を備えることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載のローラミル。

【請求項 4】

前記ギヤレス直接駆動装置 (4) が、前記研磨台 (2) に回り止め状態で連結された回転子 (4 a) を備えることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のローラミル。

【請求項 5】

前記研磨台 (2) の下部が、鐘状または筒状に構成されており、
 前記ギヤレス直接駆動装置 (4) は、この研磨台下部の鐘状または筒状部分の内部に配設されていることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のローラミル。

【請求項 6】

前記ギヤレス直接駆動装置（４）が、横方向磁束モータによって構成されていることを特徴とする請求項１～５のいずれか１項に記載のローラミル。

【請求項７】

前記ギヤレス直接駆動装置（４）が、内側固定子と外側回転子とを有する高トルクモータによって構成されていることを特徴とする請求項１～６のいずれか１項に記載のローラミル。

【請求項８】

前記高トルクモータが、永久磁石付きの回転子（４a）を有している請求項７に記載のローラミル。

【請求項９】

前記ギヤレス直接駆動装置（４）が、該直接駆動装置（４）を所定の駆動トルクに調節するための調節装置（１２）に接続されていることを特徴とする請求項１～８のいずれか１項に記載のローラミル。

【請求項１０】

前記ギヤレス直接駆動装置（４）が、該直接駆動装置（４）を調節してローラミルの全入力電力の所定の割合となるようにする調節装置（１２）に接続されていることを特徴とする請求項１～９のいずれか１項に記載のローラミル。

【請求項１１】

前記研磨ローラ駆動システム（３）に、調節装置（１２）が設けられており、

前記調節装置（１２）は、前記ギヤレス直接駆動装置（４）にも接続され、ローラミルの全入力電力の所定の割合となるように前記ギヤレス直接駆動装置（４）を調節することを特徴とする請求項１～１０のいずれか１項に記載のローラミル。

【請求項１２】

前記ギヤレス直接駆動装置（４）が、その制御を行うための周波数変換器に接続されていることを特徴とする請求項１～１１のいずれか１項に記載のローラミル。

【請求項１３】

前記ギヤレス直接駆動装置（４）が、電力供給網に直接接続されていることを特徴とする請求項１～１２のいずれか１項に記載のローラミル。